

●R6年度重点的に取り組む課題に応じた目標

課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位	本年度の目標値
②学校と地域の課題	学校支援ボランティアの確保・育成	地域学校協働活動をCSと一体的に推進することを目指しているが、いまだに認知度が低く、ボランティアの固定化が見られる。	年15回程度発行しているCS通信や町広報誌において学校支援ボランティアの報告や募集周知を行っている。	・CS通信を年15回以上発行し、毎号学校支援ボランティアの活動報告を取り上げる。 ・町広報に3回以上、学校支援ボランティアに関する記事（募集及び活動報告）を掲載する。	認知度が向上することによってボランティア登録者数が増える。	新規登録者の人数	21	人	31

●R6年度目標に対する評価

【R6年度末の学校支援ボランティア登録者数】 31名

【結果を受けての分析】

今年度学校支援ボランティアの登録者数は目標値の31名となった。町広報での記事掲載は2回であったが、CS通信でボランティアの活動状況を事例ごとに紹介したほか、各小中学校担当の地域学校協働活動推進員が直接声を掛けるなど、日頃の取組の成果であると感じている。

しかしながら、目標値には達したものの、学校支援の機会は着実に増えており、内容も幅広くなっていることから、ボランティアの固定化対策が引き続き必要であるため、次年度以降も学校支援ボランティアの強化に継続して取り組んでいく。